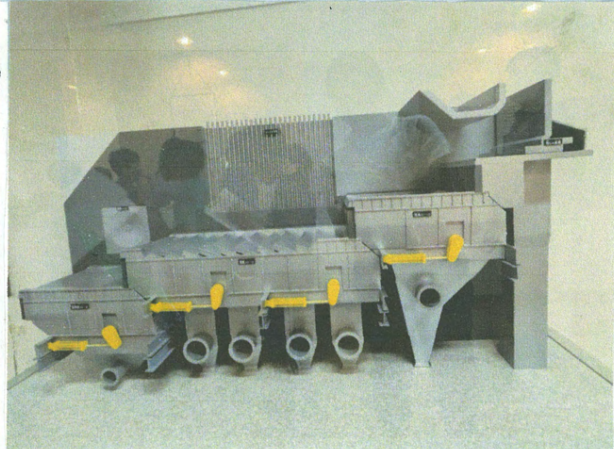


もえるごみの行方

くりりん新聞

発行者 彩由宗
発行所 彩由宗

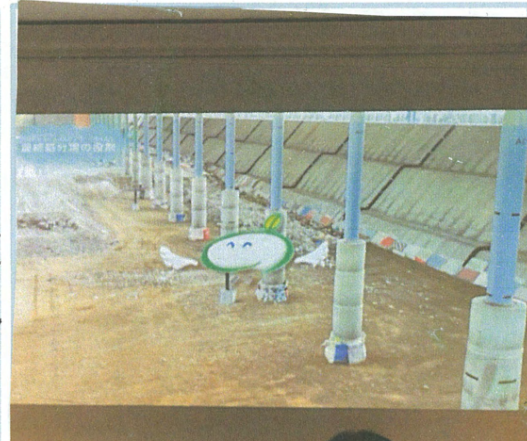


<焼却炉のもけい>

わたしは、九月三日にくりりんセンターに見学に行きました。そして色々な事がわかりました。その中から三つ紹介します。ではまずもえるごみのゆくえを追ってみましょう。

はじめにゴミを受け入れます。トラックの重さを量ったり、ごみのごみを量り、くりりんセンターの中へ行きます。そのあとピットに入れてクレートで焼却炉へはこび九百度でモヤします。モヤす時すべてのごみがもえるように床を動かします。そのあと灰を埋立地へはこびうめたてます。わたしはごみをモヤす温度は、二百度だと思っていたけれど九百度でおとろきました。また九百度だといおいがせむタイオキシソといふ体に有害なものが、でないとはじめて知りませんでした。温度にも色々な理由があると知り、びっくりしました。

なんと十五年



<うめーるセンターの中身>

くりりんセンターでは、もえるごみをモヤしたあとの灰をうめたてちをうめたてています。うめたてちの名前は、うめーるセンターです。うめーるセンターでは、灰を十五年間もうめたてられます。またもえるごみをモヤすと十分の二ぐらいの量になるそうです。わたしは、うめたてちについて教えてもらって

十五年も灰をうめたてられるんだなと思いましたが、灰は、うめたてられ



ているとはじめて知りました。くりりんセンターのもえるごみをモヤした灰は全部うめーるセンターでうめたてられていると知りおとろきました。カールリサイクル PET リサイクル

くりりんセンターでは、もえるごみをモヤすエネルギーで発電しています。そのことをサーマルリサイクルといっています。発電した電気は、くりりんセンターで、しょうめいやおかいにつかっています。のりの電気は、電力会社に売っています。